

理事長	施設長	事務主任	サビ管	主任

地域連携推進会議 会議録

1. 会議概要

- 会議名：地域連携推進会議
- 開催日：令和7年 12月 13日 午前10:00から11:00
- 開催場所：凜生園 会議室
- 出席者：松本 功様（ご家族・地域） 廣地 亮様（福祉関係者・地域）
今井 修二様（ご利用者） 宮川 晴行様（経営） 弓木 昭人（事務局）

2. 報告事項

- ① ごあいさつ
- ② 委員の紹介
- ③ 施設視察
- ④ 資料の説明（法人概要、事業所概要、利用者概要、研修状況、収支状況）

2. 委員からの主な意見

（1）人件費比率に関する意見

資金収支計算書において、凜生園拠点の人件費比率が約60%と示されているが、他の社会福祉法人においても同程度の水準となっているのか、参考として確認したいとの意見があった。

(2) 施設視察を通じた家族の受け止め

施設内の視察時に支援内容の説明を受けることで、障害福祉における支援の大変さが改めて理解でき、ご家族から職員に対してねぎらいの言葉が寄せられるとの意見があった。

(3) 他分野の福祉関係者からの評価

高齢福祉に携わる福祉関係者からも、若年層の利用者を含む障害福祉の支援は特に専門性と負担が大きく、その大変さがよく分かるとの声があった。

3. 法人（施設）からの回答・受け止め

(1) 収支状況および人件費に関する考え方

現在、凜生園拠点における収支状況は概ね良好であるが、今後の障害福祉サービス報酬改定については流動的な側面もあり、先行きは不透明な状況である。一方で、人件費については年々増加傾向にあるものの、利用者支援の質を維持・向上させるためにも、安易な人件費の削減は行わず、適切な人員体制を確保しながら、今後も安定的な法人運営に努めていく方針である。

(2) 会議を通じた相互理解について

施設視察や意見交換を通じて、障害特性に配慮した支援・介護を提供することの困難さについて、ご家族や福祉関係者に理解を深めていただくことができた。また、職員に対

するねぎらいの言葉も多く寄せられ、本会議が相互理解を深める有意義な場となったと受け止めている。

4. 事務局より総括

本会議を通じて、法人の運営状況や支援内容について共有するとともに、地域・家族・福祉関係者との相互理解を深めることができた。今後も地域との連携を大切にしながら、より良い障害福祉サービスの提供に努めていくことを確認した。

以上